

学校関係者評価委員会からの提言

児童	学習について	肯定的評価			否定的評価			分からない		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 学ぶことが楽しい。		80%			17%			3%	
	2 先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を作っている。	94%	89%	-5%	5%	7%	2%	1%	4%	3%
	3 先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	89%	86%	-3%	7%	5%	-2%	4%	8%	4%
	4 授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	96%	96%	0%	4%	4%	0%	0%	0%	0%
	5 先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	90%	93%	3%	7%	6%	-1%	2%	2%	0%
保護者	学習について									
	1 本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	74%	82%	8%	13%	7%	-6%	14%	11%	-3%
	2 本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	68%	66%	-2%	14%	13%	-1%	18%	20%	2%
	3 本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	74%	83%	9%	11%	5%	-6%	15%	12%	-3%
	4 本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	64%	77%	13%	21%	10%	-11%	16%	13%	-3%

映像やタブレットを活用した授業や発表の機会提供が引き続き児童から高評価を得ている。一方「学ぶことが楽しい」と回答した児童が80%だったが、遊びを「楽しい」と感じられない児童が20%いる点は改善の余地があると思われる。教育環境への工夫は評価されているものの、より多くの児童が楽しめる遊びを提供するにはさらなる工夫が必要だと思われる。家庭ごとの学習進度の違いや価値観の多様化が進む中で非常に難易度の高い課題であるが、改善に向けて評価が高い他校や有識者など外部とのコミュニケーションなどによって自校に合った改善策を取り入れることを期待する。

タブレットの活用場面は年々増えている。教師は次々に新しく出てくる利用方法の情報を収集し取捨選択して授業で活用しており、児童も自分が発したい内容に応じて効果的に活用しており、この取組は今後も継続していく。遊びを「楽しい」と感じるかについて肯定的評価が多いことに、分かりやすい授業・魅力的な授業を意識していることが表れている。一方で「楽しい」と感じられない児童のためにも、学ぶ必要を感じられる学習課題提示や、学んだことが生活に生きることを実感できる授業展開をさらに意識していく。

児童	生活について	肯定的評価			否定的評価			分からない		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 私は、学校のきまりを守って、行動している。	90%	82%	-8%	7%	14%	7%	3%	3%	0%
	2 学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	85%	88%	3%	11%	10%	-1%	3%	2%	-1%
	3 先生に注意されたことは、理解できる。	89%	93%	4%	7%	6%	-1%	3%	1%	-2%
保護者	生活について									
	1 本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考え方させる指導をしている。	74%	78%	4%	12%	9%	-3%	14%	13%	-1%
	2 本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	78%	83%	5%	15%	10%	-5%	7%	7%	0%
地域	生活について									
	1 通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	87%	89%	2%	9%	8%	-1%	4%	4%	0%

先生の生活指導に対する評価はおおむね良好であり、多くの項目で肯定的な評価が向上している。特に「先生に注意されたことは理解できる」や「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している」という項目で高評価が見られ、適切な指導が児童や保護者に評価されていることが分かる。一方で、児童のルール遵守意識が低下しており、肯定的評価が8ポイント減少した。これにより、ルールの意義を児童に再認識させる取り組みが求められる。また、保護者への情報共有不足も一部課題として存在し、具体的な取組内容や方針を伝える機会を増やし、より良い関係性が構築されることを期待する。

教師の適切な指導やそれに対する児童・保護者の理解がすんでおり、継続していく。児童のルール遵守意識低下に関しては、ルールを守っていない場面がある自分に気付き認めることができるようになってきていている段階で、改善向上意識を感じられる児童が多い。ルールの意義を伝えていくとともに、改善向上しようとする児童の姿を認め支援していく。保護者会等で児童の様子や課題について率直に伝え理解・協力をお願いした結果、教師と保護者の共通理解のもと、児童の様子が良化した学年もあり、継続し、他学年にも広めていく。

児童	学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
保護者	1 学校行事は楽しい。	92%	93%	1%	8%	7%	-1%	0%	1%	1%
	2 学校行事は達成感がある。	92%	94%	2%	7%	6%	-1%	1%	1%	0%
	3 先生は、児童の意欲を大切にしている。	85%	85%	0%	8%	5%	-3%	7%	10%	3%
地域	学校行事(運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など)について									
児童	1 学校行事の内容は充実している。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%
	2 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	100%	88%	-12%	0%	0%	0%	0%	12%	12%

児童、保護者共に肯定的評価が高い。楽しみながら達成感を得られる学校行事の数々は、子ども達の成長の糧になる。先生方のご尽力に感謝すると共に、今後も子ども達の意欲を大事に、成長の手助けをお願いしたい。

行事に向けて取り組む意義を教師が伝え児童が理解し、行事をよりよくする思いをもちながら準備や練習した結果、行事本番も充実したものとなっている。今後も、異学年交流や地域とのつながり、自身の成長やその発表など、各行事に向けて取り組む意味やめあてを児童が理解して前向きに活動できるようにしていく。

児童	キャリア教育について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
保護者	1 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	69%	63%	-6%	21%	25%	4%	10%	12%	2%
	2 目標をもち、その実現に向けて努力している。	80%	82%	2%	16%	12%	-4%	3%	6%	3%
	3 区立中学校に関する情報が提供されている。	59%	51%	-8%	19%	24%	5%	23%	25%	2%
児童	キャリア教育について									
保護者	1 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	62%	67%	5%	16%	11%	-5%	22%	22%	0%
	2 本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	49%	49%	0%	22%	16%	-6%	29%	35%	6%

例年、肯定的評価が低い。学校も努力されているだろうが、まだ「キャリア教育」についての情報発信が不足していると思われる。キャリア教育は「自分らしい生き方を実現できる力」を育む取組であり、子どもの将来にとって大切なものである。より一層周知理解への努力をお願いしたい。また、「区立中学校に関する情報が提供されている」の項目は年々否定的評価が増加しているので、子ども達が区立中学校を身近に感じられるような情報提供や中学生との交流などを検討していただきたい。

昨年度に引き続き校内研究でキャリア教育に取り組み、各教科の授業の中でキャリア教育を意識した指導が浸透し始めている。砧っ子に身に付けさせたい力として「なりたい自分になるために」という掲示を全校共通で教室掲示した。人間関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力について、「やりぬく力」など児童に分かりやすい言葉で掲示しており、授業での活用を進めていく。区立中学校の情報提供については、小学校行事での中学生ボランティアの協力をさらに伝えたり、中学校行事案内を積極的に校内掲示したりしていく。

児童	先生について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 先生たちは、ていねいに指導してくれる。	94%	92%	-2%	6%	6%	0%	0%	3%	3%
	2 先生たちに相談できる。	74%	78%	4%	20%	16%	-4%	7%	5%	-2%
保護者	教職員について									
		1 本校は、丁寧に指導している。	79%	90%	11%	12%	5%	-7%	8%	5%
	2 本校は、子どものことを相談しやすい。	73%	82%	9%	20%	11%	-9%	7%	7%	0%

概ね高評価となっている。特に保護者の否定的意見が減少していることは、学校と保護者の連携が強化されていることの現れと思われる。今後も保護者との協力関係を深めていただきたい。

教師の指導に対する児童の理解や保護者の協力を得られていることはありがたい。今後も、分かりやすい授業や児童の話を丁寧に聞くこと、頑張りへのフィードバック、休み時間の共遊びなど、児童とのかかわりを大切にしていく。

児童	全般について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 学校生活は楽しい。	88%	86%	-2%	10%	12%	2%	2%	2%	0%
	2 学校が好き。	85%	76%	-9%	11%	19%	8%	4%	5%	1%
	3 私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	80%	65%	-15%	12%	20%	8%	8%	15%	7%
	4 私は、塾で学習している	60%	63%	3%	37%	31%	-6%	3%	6%	3%
	5 学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	63%	66%	3%	20%	22%	2%	17%	12%	-5%
保護者	全般について									
	1 本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	86%	93%	7%	11%	4%	-7%	3%	2%	-1%
	2 子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	65%	66%	1%	34%	33%	-1%	1%	1%	0%
	3 本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	78%	75%	-3%	9%	11%	2%	13%	15%	2%
	4 本校の教育活動に満足している。	75%	86%	11%	18%	10%	-8%	7%	5%	-2%
	5 子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	86%	92%	6%	12%	7%	-5%	2%	2%	0%

設問3の評価が大幅に下がっている点について、児童がe-ラーニングの概念を十分に理解できていない可能性を考えられる。タブレットの使用=e-ラーニングと誤解し、使用頻度の減少が評価の低下に直結しているのかもしれない。アンケート実施前に、e-ラーニングの定義や目的について説明することも一案かと思われる。
保護者の教育活動に対する満足度が向上しているのは、ひとえに先生方のご尽力の賜物なので、今後も質の高い教育活動の継続をお願いしたい。

すべての児童が「学校生活が楽しい」「学校が好き」と思える学校づくりを引き続き目指していく。e-ラーニングについては、アンケート前の解説が必要である。保護者の理解や肯定的評価に感謝し、今後も児童が楽しく学習・生活することができるようになるとともに、朝遊びや朝ランニングなど砧小独自の健康・体力向上への取組も継続していく。

保護者	学校からの情報提供について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
地域	1 本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	86%	89%	3%	10%	9%	-1%	4%	2%	-2%
	2 「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。	47%	42%	-5%	32%	33%	1%	21%	25%	4%
	3 本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	93%	92%	-1%	6%	6%	0%	1%	2%	1%
	4 本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	92%	94%	2%	5%	3%	-2%	4%	3%	-1%

ホームページの充実などにより、しっかりととした情報提供が行われていると思われる所以、引き続き努力していただきたい。しかしながら「学び舎」の情報提供については保護者の33%、地域の方19%の否定的評価がある為、砧中学校、砧南中学校と連携を取り、より一層の情報提供を行っていただきたい。以前行っていた中学校との交流がなくなったので、特に高学年と学び舎の中学校との交流を増やしていただきたい。

引き続きホームページで児童の頑張りや学校・教師の取組を発信し、教育活動への理解を得られるようにしていく。来年度「魅力ある学び舎」の研究に取り組むので、学び舎内の保育園・幼稚園、小学校、中学校と連携した取組みを企画するとともに、ホームページや学校だよりなどで発信していく。

保護者	学校運営について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
地域	1 本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	84%	88%	4%	8%	6%	-2%	8%	7%	-1%
	2 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	85%	92%	7%	7%	2%	-5%	8%	5%	-3%
地域	学校運営について									
	1 学校の重点目標が明確である。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%
	2 地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%

「学校運営について」の2項目で保護者の高評価が上がり、低評価が下がっているのはホームページでの情報発信であったり、学校からのわかりやすい「様々な便り」の結果であると思われるので、このまま引き続きお願いたい。

今後も、様々な人との「つながり」を大切にすること、何事にも真剣に全力で取り組むことを柱として、「子どもが主役の学校」「地域とともに子どもを育てる学校」「教職員が高め合う学校」を目指し、その具体的な取組をホームページや学校だよりなどで発信し、学校協議会や学校運営委員会などで地域の方々に伝えていく。

保護者	家庭と学校の連携について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 私は、学校公開にすすんで参加している。	88%	90%	2%	10%	10%	0%	2%	0%	-2%
	2 私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。	66%	56%	-10%	33%	40%	7%	1%	4%	3%
	3 私は、今年度の学校重点目標を理解している。	59%	60%	1%	28%	26%	-2%	13%	15%	2%

保護者の学校行事、PTAや地域行事への参加についての肯定的評価が低下している。これは保護者の分担制を廃止し、都度の参加を促すサポーターを募集する流れへとスイッチした影響なのではないかと考える。またPTAも担い手を集めていない等、学校行事と保護者の参加とつなぐオペレーションが分かりづらいことも起因していると思われる。

できるときに、できることを協力していただくPTAの形への変革を学校としてもバックアップしていく。また、保護者がすすんで協力しようと思えるように、学校行事などの充実を図り、実施方法を考えていく。

保護者	地域との連携について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
	1 本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	91%	91%	0%	4%	4%	0%	6%	5%	-1%
	2 本校は、地域の活動などに協力的である。	90%	92%	2%	1%	3%	2%	9%	6%	-3%
	3 本校は、地域に情報を提供している。	78%	79%	1%	4%	4%	0%	18%	17%	-1%
地域	地域との連携について									
	1 地域の人や施設を教育活動に活かしている。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%
	2 学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	87%	92%	5%	4%	0%	-4%	9%	8%	-1%
	3 学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	96%	92%	-4%	4%	4%	0%	0%	4%	4%

本校は地域との連携を密にした運営が保護者、地域からは絶大なる支援を受けていることが本評価につながっていると考えられる。これからも校長のリーダーシップと地域との連携を促す学校運営について大いに期待が持たれるところである。

地域との連携は砧小の特色である。今後もそれを柱として、授業や行事で地域の方々の協力を得ながら児童が成長していく学校運営をすすめる。

保護者	学校の安全性について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
1	本校は、安全な学校づくりを進めている。	73%	77%	4%	20%	15%	-5%	6%	9%	3%
	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	90%	93%	3%	4%	3%	-1%	6%	4%	-2%
	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	81%	80%	-1%	12%	10%	-2%	7%	10%	3%
地域	学校の安全性について									
1	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%
	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%

安全な学校づくりについて、保護者の肯定的意見が微増した。学校の安全教育が充実してきた結果と思われる。自然災害時の対応については昨年と同様に2割が否定的もしくはわからない回答なので、避難訓練だけではなく「命を守るための行動」を折にふれて指導していただきたい。

学校内の安全に引き続き配慮する。また交通安全も含め、風水害などの自然災害についても、日常から具体的に指導し、安全な登下校ができるようにしていく。

保護者	学校独自項目について	肯定的評価			否定的評価			分からぬ		
		R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)	R5年度(a)	R6年度(b)	(b)-(a)
1	本校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」はよいと思う。	95%	94%	-1%	4%	3%	-1%	1%	4%	3%
2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	87%	88%	1%	2%	2%	0%	11%	10%	-1%
3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	86%	86%	0%	5%	6%	1%	8%	8%	0%
4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するするために、効果的である。	93%	95%	2%	3%	2%	-1%	4%	3%	-1%
5	朝学習で国語・算数・英語に取り組んでいることは、学力向上と学習習慣習得のために効果的である。	90%	89%	-1%	5%	4%	-1%	6%	7%	1%
6	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	96%	97%	1%	2%	2%	0%	2%	2%	0%
7	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	98%	98%	0%	1%	2%	1%	1%	0%	-1%
8	T.T指導や習熟度別学習をすることにより理解度が増し、進んで学習する子の育成に効果的である。※T.T指導（1～2年生の算数で、担任ともう一人の教員が入って指導に当たること）※習熟度別学習（3年生以上の算数で、学級数プラス1のグループに分けて少人数で習熟度別に学習すること）	89%	89%	0%	4%	2%	-2%	7%	9%	2%
9	「盆踊り大会～砧っ子夏祭り～」「石井戸囃子」は、地域と交流できるとてもよい活動である。	94%	94%	0%	5%	3%	-2%	1%	3%	2%

地域	学校独自項目について									
1	本校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」はよいと思う。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%
2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	91%	96%	5%	0%	0%	0%	9%	4%	-5%
3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	96%	89%	-7%	4%	0%	-4%	0%	12%	12%
4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するために、効果的である。	87%	96%	9%	9%	0%	-9%	4%	4%	0%
5	朝学習で国語・算数・英語に取り組んでいることは、学力向上と学習習慣習得のために効果的である。	91%	92%	1%	4%	4%	0%	4%	4%	0%
6	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	100%	92%	-8%	0%	0%	0%	0%	8%	8%
7	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	96%	96%	0%	4%	0%	-4%	0%	4%	4%
8	T.T指導や習熟度別学習をすることにより理解度が増し、進んで学習する子の育成に効果的である。※T.T指導（1～2年生の算数で、担任ともう一人の教員が入って指導に当たること）※習熟度別学習（3年生以上の算数で、学級数プラス1のグループに分けて少人数で習熟度別に学習すること）	96%	92%	-4%	0%	4%	4%	4%	4%	0%
9	「砧っ子夏祭り」「石井戸囃子」等は、地域と交流できるとてもよい活動である。	100%	96%	-4%	0%	0%	0%	0%	4%	4%

昨年同様、高評価であり、学校の活動に理解が得られていると思われる。今後もより良いご指導をお願いしたい。

砧小独自の取組に高評価をいただけたことに感謝し、今後も、あいさつ運動やなかよし班活動などのつながりを大切にする教育や基礎基本の定着を大切にした学習、朝遊びや朝ランニングなどの健康・体力向上への取組、「砧っ子夏祭り」や「石井戸囃子」などの地域との連携を軸とした教育を進めていく。

(総評) 児童からはe-ラーニングについての理解、また地域からは「学び舎」の活動についての情報を共有することへの難しさがうかがい知れる。一方で、地域からはあいさつ運動に取り組んでいることへの評価が高い。合わせて保護者からは、校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいるとの高評価を得ている。これからも砧の学校運営を考察する手法の一つとして、関係者の皆様におかれでは本調査へのご協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。